



## 今年度最後のにっこりタイム

本校でにっこりタイムに取り組み始めて、2年半が経ちました。週に1回、15分ずつの取り組みですが、じんわりじんわり子どもたちの心に浸透していていることを感じます。自分のことを知る、好きになる。相手のことを知ることで他者理解ができるようになる。相手の気持ちを考えて、話すことができる。聞くことができる。これは、社会に出て必ず役に立つコミュニケーション力の基本だと考えます。自分の周りには、いろいろな考えの子がいることも大切な学びです。大人になって困らないように・・・身につけてほしいスキルばかりです。「そうなんだ」「なるほどね」「いっしょだね」「おねがいします」「ありがとうございました」あたりまえのように子どもたちから出てくる挨拶の言葉や相手の目を見てうなづく姿勢に感心します。ぜひ、ご家庭でも「おうちスマイル—いいところみつけ—」やってみませんか。いいところ、見つけてもらおうと、大人だってわくわくして、うれしいものです。さて、昨日は、今年度最後のにっこりタイムでした。

最後のエクササイズは「いいところみつけ」です。友達から自分のいいところ2つに○がもらえます。どこに○がもらえたのか、ドキドキしながらワークシートを見ました。「話を聞いてくれる」に○が付いていて、自然と笑顔になれました。1年間のにっこりタイムはどうでしたか？うなずきながら、最後まで話を聞くことができましたか？にっこり笑顔で活動できましたか？友達のよいところに気付きましたか？自分を振り返ることができましたか？1年間、よく頑張りました。4月からはどんなメンバーで「にっこりタイム」ができるか楽しみです。（HPの教頭先生の文章引用）



認めてもらうってうれしいね

## あかあさんといっしょの歌に支えられて

今週の月曜日の朝会は、たくさんの表彰がありました。その中で、体力章（ゴールド）の表彰がありました。毎年、56年の表彰をしていました。今年度から4年生も対象となり、本校でも5月に体力テストを行いました。56年生でゴールドを受賞した子の人数を調べてみました。R5が8人→R6が12人→R7が22人。そして、初めての4年生でゴールド受賞の子が10人いました。もう少しでゴールドというシルバーの子もたくさんいました。入江選手の講演やプロによるダンス教室、そして日々の体育の授業を通して、少しでも運動が好き、やってみようかな、できるかと思う子どもたちが増えて、将来困らない体づくりにつながっていればいいなと思っています。

さて、たくさんの表彰があり、伝えられなかったことがあります。それは、最近心にささった歌のことです。それは、あかあさんといっしょの2月の歌です。私も子育て中、あかあさんといっしょの歌に支えられました。初めて歌に合わせて我が子が言葉を発したのは、3人とも同じで「どんないろがすき」でした。「あか」のところをずっと待っていてリズムに乗って「あか」と言った時の感動は忘れられません。そして、たくさんの歌と一緒に歌いました。コロナ禍の時は、学校の放送で何度も何度も「にじのむこうに」を

流して、必ず雨はあがるから、いっしょにがんばろうと励まし合いました。子どもたちの毎日に、一日でも早くにじがかかってほしいと願う日々でした。歴代のおにいさん、おねえさんがSNSを通して、スペシャルな「にじのむこうに」を配信してくれていました。そして、2月の歌は「ゆきたいところへ」でした。おかあさんといっしょを見ることは全くなくなりましたが、10か月の孫が動画の中で何かの歌に合わせて体を大きくゆすってにこにこ笑顔。その後ろでママが「いい歌だねえ」を連呼していたのです。音が小さすぎて聞こえなかったので、曲名を聞いたら「ゆきたいところへ」でした。調べてみたら、あの川嶋あいさんが作った歌で、「ジグザグ道だけど でこぼこ道だけど」「わくわく みつけよう きらきら つかまえよう」という歌詞がずっと頭の中に残って、子どもたちに聞かせたいなと思ってしまいました。そこで、朝会でこう話す予定でした。

全校の子どもたちがそろっての最後の朝会。先生からの贈り物を考えました。

(ここでこの歌を流して・・・)

この歌は、誰かの今後をおうえんする優しい歌です。(ぜひ聞いてみてくださいね)

「ゆきたいところへ」川嶋あい

まだみたことない たくさんのゆめが  
ぼくをきっとまっている  
たのしくおもしろいあしたが  
ぜったい ぼくにもやってくる  
ジグザグみちだけど、でこぼこみちだけど  
いろとりどりの はながさくよ  
いつも ぼくがえがおでいれば



ジグザグ道も、でこぼこ道もきっとある。  
だけどね。笑顔でいたら、ゆきたいところへいけるよ。

いろいろなことにチャレンジしてほしい。そして、自分らしく学びつづけてほしい。  
自分も相手も大切にしてほしい。そして、正しい行動をしてほしい。

いつも先生の近くにいてくれて ありがとう。そのおかげで、先生は元気いっぱい、笑顔いっぱいになります。みんなにはすごい力がある。周りの人を元気に笑顔にする力。それを忘れないでいてほしいな。勇気を出して 新しい学年でも一歩を踏み出してほしいです。そして、それぞれの「ゆきたいところへ」笑顔でどんどん進んでいってほしいです。

さあゆけ それぞれのゆきたいところへ  
これが先生からみんなに伝えたかったことです。

いつものように、私の話の後、大きな温かい拍手をしてくれました。これが何よりもうれしくて、幸せな時間です。誰かががんばって発表していると自然に拍手が起こる、これは松原っ子の素敵どころです。素直な心と相手のドキドキ感や緊張を悟って思いやることができる優しい心を持ち合わせている証拠です。かわいい子どもたちです。

「何事にもチャレンジし自分らしく学び続ける子」「自分も相手も大切に正しく行動できる子」